

当園で5例目となるオカピの繁殖報告及び出産に備えて行った工夫

○大浦敦史¹⁾、福島翔太¹⁾、石和田研二¹⁾、松井桐人²⁾、東野晃典¹⁾、植田美弥¹⁾、田中宗平¹⁾

(¹⁾公益財団法人横浜市緑の協会 横浜市立よこはま動物園

(²⁾公益財団法人横浜市緑の協会 総務部営業課)

よこはま動物園では、開園前の1997年にオカピ (*Okapia johnstoni*) を国内で初めて飼育を開始し、2000年には国内初の自然繁殖を成功させ繁殖賞を受賞した。以来2003年、2006年と順調に繁殖してきたが、2011年には誕生後すぐに死亡してしまうという事例も発生した。

このような4例を参考にし、更に繁殖を進めるための取り組みを行ってきた結果、2014年12月10日に当園で5例目となる繁殖を成功させた。

出産前の準備としては、出産が寒い時期に重なる事から、これまで以上に効率の良い寒さ対策を施し、老朽化していた監視カメラシステムについても再構築を行った。

また出産にあたっては仔が逆子であり、娩出に時間がかかったことから飼育員が仔の肢を牽引し娩出した。仔の臍部に膨らみが見られたため臍帯炎や臍ヘルニアを疑ったが、保定下で触診及び採血・血液検査を行った結果、その可能性は低く、結合組織の過形成が疑われ、健康への影響は小さいと考えられた。その後も経過を観察していたところ患部は自然治癒し、仔は現在まで順調に成育している。

今回は、この度の繁殖についてペアリングから出産前後の経過及び出産に備えて行った工夫について報告する。